



# 環境パフォーマンス

## 環境負荷の全体像

### 2006年度の環境パフォーマンスの集計結果

理想科学は、製品の開発・設計、生産、ならびに販売・物流から、使用済み製品の回収・リユース・リサイクルまでの環境負荷の全体像を数値で把握することに取り組んでいます。

生産活動における環境負荷を低減することと製品の使用時及び廃棄時の環境負荷を低減することが重要であると認識しています。

### 2006年度の環境パフォーマンスのポイント

使用済み製品の回収に努め、回収量は増加しました。同時に環境活動の推進の結果、廃棄物排出量を削減しました。

CO<sub>2</sub>排出量は減少しましたが、この要因は生産量の減少のほか、2006年度は比較的猛暑の日が少なく、また暖冬であったことも影響していると捉えています。今後もさらに環境負荷の低減に向けて活動を推進していきますが、回収・リユース・リサイクルにおける再資源化率の向上、埋立最終処分量の低減がポイントであると考えています。

### INPUT

	2005	2006	2005年度比
<b>エネルギーの使用量内訳</b>			
電気使用量 (万kWh/年)	965	901	93
LPG (t/年)	66	56	85
A重油 (kl/年)	192	154	80
ガソリン (kl/年)	557	527	95
<b>水の使用量 (m<sup>3</sup>)</b>	<b>44,172</b>	<b>41,621</b>	<b>94</b>
金属 (t)	2,162	1,266	59
プラスチック (t)	1,894	1,576	83
ガラス (t)	61	35	57
紙 (t)	3,574	3,274	92
その他 (t)	4,212	4,369	104
小計	56,075	52,141	93
PRTR物質 (t)	3.0	2.8	93
<b>回収量 (t)</b>	<b>2,280</b>	<b>2,417</b>	<b>106</b>

### OUTPUT

	2005	2006	2005年度比
<b>CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>/年)</b>	<b>7,366</b>	<b>6,809</b>	<b>92</b>
電気使用量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	5,356	5,001	93
LPG (t-CO <sub>2</sub> /年)	198	168	85
A重油 (t-CO <sub>2</sub> /年)	520	417	80
ガソリン (t-CO <sub>2</sub> /年)	1,292	1,223	95
<b>排水量 (m<sup>3</sup>)</b>	<b>31,531</b>	<b>28,236</b>	<b>90</b>
蒸気放散・散水その他 (t)	9,099	9,611	106
製品 (t)	15,445	14,294	93
小計	56,075	52,141	93
PRTR物質の大気への排出量 (kg)	100	169	169
PRTR物質の水域への排出量 (kg)	0	0	—
PRTR物質の土壌への排出量 (kg)	4	3	75
PRTR物質の廃棄物への移動量 (kg)	44	18	41
廃棄物排出量*1 (t)	3,731	3,576	96
再生投入量*5 (t)	481	469	98
再資源化量*2 (t)	2,746	2,659	97
その他*3 (t)	244	206	84
埋立最終処分量*4 (t)	260	242	93

【集計範囲】 右表の事業工程ごとのINPUT/OUTPUTを集計しています。

【集計対象】 日本国内。

- ・開発・設計、生産でのエネルギー使用量とそれに伴うCO<sub>2</sub>排出量、水使用量と排水量、廃棄物排出量。
- ・生産での物質投入量、PRTR物質投入量と移動・排出量。販売での社有車のガソリン使用量とそれに伴うCO<sub>2</sub>排出量。
- ・回収・リユース・リサイクルでの使用済み製品回収量と廃棄物排出量。

※輸送業者に委託する貨物輸送に伴うデータ、及び本社ならびに営業部門でのエネルギー使用量とそれに伴うCO<sub>2</sub>排出量は含んでいません。

### ●CO<sub>2</sub>排出量の算定について

エネルギー消費量の温暖化ガス(CO<sub>2</sub>)排出量への換算は「地球温暖化の推進に関する法律施行令第三条(平成18年3月24日改正)」に掲載されている換算係数を使用しています。(電力:0.555kgCO<sub>2</sub>/kWh、ガソリン:2.32kgCO<sub>2</sub>/ℓ、A重油:2.71kgCO<sub>2</sub>/ℓ、LPG:3.00kgCO<sub>2</sub>/kg)

なお、経年での変化を見るために2005年度のデータについてもこの換算係数を適用しています。そのため2005年度の数値は昨年報告のものとは異なります。

(※昨年度は「地球温暖化の推進に関する法律施行令第三条(平成14年12月19日改正)」の換算係数を用いています。)

### 2005年度報告における報告数値の訂正について

生産のINPUT項目においてデータの収集が不足していたことと仕分け基準に問題があったため、集計方法を変更し、2005年度に遡って適用しました。

また、回収・リユース・リサイクルのOUTPUT項目の再資源化量と埋立最終処分量の算出方法の検証により、昨年度までの単純平均による算出から、より適切な加重平均による算出に変更し、2005年度に遡って適用しました。お詫びのうえ訂正いたします。

また、照合、対比を行いやすい記載方法に変更しました。

## 事業工程ごとのINPUT/OUTPUT

事業工程	INPUT				OUTPUT			
		2005	2006	2005年度比		2005	2006	2005年度比
<b>開発・設計</b> 【集計範囲】 開発技術センター（筑波事業所内）、 K&I開発センター（若葉事業所）、 S&A開発センター（徳米ビル内） ※但し、開発技術センターの水使用量、 排水量は単独での数値把握ができな いため下記の生産（筑波事業所）の項 に含めています。	製品開発におけるエネルギー使用量及びCO <sub>2</sub> 排出量などを表します。 ▶P20～22							
	エネルギーの使用量				CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	1,403	1,331	95
	電気 (万kWh/年)	249	236	95	電気 (t-CO <sub>2</sub> /年)	1,382	1,310	95
	LPG (t)	7	7	100	LPG (t-CO <sub>2</sub> /年)	21	21	100
	水の使用量 (m <sup>3</sup> )	3,446	3,209	93	排水量 (m <sup>3</sup> )	3,446	3,209	93
					廃棄物排出量*1 (t)	201	103	51
					再資源化量*2 (t)	161	98	61
					その他*3 (t)	18	4	22
				埋立最終処分量*4 (t)	22	1	5	
<b>生産</b> 【集計範囲】 筑波事業所（開発技術センター除く）、 宇部事業所、霞ヶ浦事業所	2006年度に生産した主要製品への材料投入量とエネルギー使用量及びCO <sub>2</sub> 排出量、 廃棄物排出量などを表します。 ▶P23～25							
	エネルギーの使用量				CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	4,671	4,255	91
	電気 (万kWh/年)	716	665	93	電気 (t-CO <sub>2</sub> /年)	3,974	3,691	93
	LPG (t)	59	49	83	LPG (t-CO <sub>2</sub> /年)	177	147	83
	A重油 (kl)	192	154	80	A重油 (t-CO <sub>2</sub> /年)	520	417	80
	水の使用量 (m <sup>3</sup> )	40,726	38,412	94	排水量 (m <sup>3</sup> )	28,085	25,027	89
	金属 (t)	2,162	1,266	59	蒸気放散・散水その他 (m <sup>3</sup> )	9,099	9,611	106
	プラスチック (t)	1,894	1,576	83	製品 (t)	15,445	14,294	93
	ガラス (t)	61	35	57				
	紙 (t)	3,574	3,274	92				
	その他 (t)	4,212	4,369	104				
	小計	52,629	48,932	93	小計	52,629	48,932	93
	PRTR物質 (t)	3.0	2.8	93	PRTR物質の大気への排出量 (kg)	100	169	169
					PRTR物質の水域への排出量 (kg)	0	0	—
					PRTR物質の土壌への排出量 (kg)	4	3	75
				PRTR物質の廃棄物への移動量 (kg)	44	18	41	
				廃棄物排出量*1 (t)	1,250	1,056	84	
				再資源化量*2 (t)	989	827	84	
				その他*3 (t)	226	202	89	
				埋立最終処分量*4 (t)	35	27	77	
<b>販売</b> 【集計範囲】 国内営業拠点及び子会社 ※輸送業者に委託している貨物輸送に 伴うデータは含みません。	お客様への販売活動や保守サービス活動などに際して使用する車両の燃料、 CO <sub>2</sub> 排出量を算出しています。 ▶P26～27							
	エネルギーの使用量				CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)			
	ガソリン (kl)	557	527	95	ガソリン (t-CO <sub>2</sub> /年)	1,292	1,223	95
<b>回収・リユース・ リサイクル</b> 【集計範囲】 日本国内の使用済み製品	使用済みとなった製品の回収量及びリユース、リサイクル量を表します。 なお、回収した製品の有効利用を進めています、一部埋立処分も行っています。 ▶P28～29							
	回収量 (t)	2,280	2,417	106	廃棄物排出量*1 (t)	2,280	2,417	106
					再生投入量*5 (t)	481	469	98
					再資源化量*2 (t)	1,596	1,734	109
					その他*3 (t)	0	0	—
					埋立最終処分量*4 (t)	203	214	105

\*1 廃棄物排出量：当社では、有価物や再資源化されるもの、リユースされるものを含めて工程から不要物として排出されるもの全てを廃棄物としています。

\*2 再資源化量：再資源化された量及び熱を得る利用(サーマルリサイクル)量で有価物を含めた合計量で、工程に再投入される量は除きます。

\*3 その他：再資源化処理や焼却処分でのガスとしての放出量など。

\*4 埋立最終処分量：埋立処分される量。再資源化処理などの中間処理で発生する残渣、焼却灰で埋立処理される量を含みます。

\*5 再生投入量：再使用される量で、再資源化処理されたもののうち原材料として工程に再投入される量を含みます。